



認知症看護認定看護師としての想い

認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくり
認知症になっても安心して受けられる医療体制づくり



はじめに

私は、2012年4月にみどり病院に就職して9年目になります。先輩のように、“諦めない看護”ができるようになりたいと思い、民医連に就職し、6年目の時に認知症看護認定看護師を目指すことを決めました。9年間そう思い続けられたわけではなく、たくさんの出会いや経験を経て、何回も持ち直してきた気持ちです。私が認定看護師を目指すまでや、認知症看護認定看護師となってからの活動について知ってもらい、皆さんの看護の目指す形を考えるきっかけになればと思います。

何故目指したのか？

なぜ私が認定看護師を目指したのかということについてお話します。6年目になってどんな先輩になれるとよいかなど考え始めた時に、『看護師の仕事に自信を持って好きだと言える先輩でありたい』と思うようになりました。そのためには、自分が納得できるようにもつといろいろなことを深く学びたいと思いました。特に、夜勤の時に認知症患者さんが落ち着いてくれればいいなあと思うことが多くあり、認知症について興味がありました。そんな時、学びを深めていくと“認知症”だと思われていた患者さんが、実は“せん妄”による認知機能の低下で認知症だと思い接してしまっていたという事例がありました。その患者さんとの出会いで、認知症への考え方が変わり、もっと学びたいと思うようになり認知症看護認定看護師を目指すことを決めました。

現在の活動

認知症看護認定看護師の活動を始め、2年目になりました。認定看護師の内容は、主に“実践”、“相談”、“指導”の3つがあります。実践では、一般病棟に勤務しながら実際に認知症のある患者さんと接し、アセスメント、看護展開を行っています。相談では、病棟でせん妄を発症した患者さんや、BPSD(認知症の行動・心理症状)の増悪などで対応に困っているケースに対し、相談にのりながら、一緒に解決策を考えたりしています。指導では、みどり病院での学習会の講師をはじめ、外部の病院の講師や看護師だけではなく介護部門への学習会の実施など、認知症ケアの普及のために、幅広く活動を行っています。今後の活動として、今年から認知症委員会が立ち上がり、病院・法人全体として“認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくり”、“認知症になっても安心して受けられる医療体制づくり”を目標に取り組み始めたので、そこで認知症看護認定看護師としての専門性を発揮できればと思っています。認定看護師は1つの道であり、他にも色々な資格や働き方があります。自分は、どこで誰のために働くのか、誰と一緒に働くのか、そのようなことを考えていくときと自分が進む道が見つかるのではないかと思います。一緒に様々な経験を積みながら考えていけるといいなと思います。

もし、実習で認知症のある患者さんの対応で悩んだりすることがあれば、ぜひ相談してください。

認知症看護認定 看護師とは？

認知症の患者さんとその家族の支援に関する最新の知識と技術を習得し、水準の高い看護の実践ができる看護師をいいます。発症から終末期まで、状態を総合的に見ながら各期に応じたケアを行い、ケアの体制づくりや家族のサポートをします。患者さんの意思を尊重し、その権利を守りながら症状の予防や緩和にも取り組みます。

奨学金制度のご案内 貸与金額 月額 50,000円

・奨学金を受けた期間と同期間、当法人施設で勤務することにより返済は免除となります。

対象

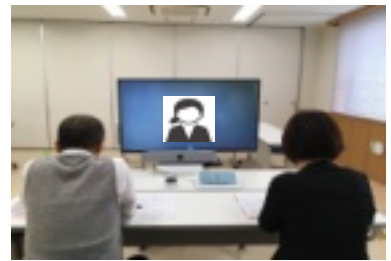
- ・看護学校入学が決定した方
- ・看護学校在住の方
- ・免許取得後、当法人で働くことを希望される方

◇詳しくは右記担当者まで



高校生模擬面接

10月10日(土)に看護学校受験する高校生対象に模擬面接を行いました。今回は、受験生役・面接官役の他に、オンラインでの受け答えの練習も1人1人行いました。5分の時間が10分経過したように長く感じられ、どの生徒さんも真剣に取り組んでいました。



普段はやらない面接官の立場に立って評価する点で、客観的に見て「自分はここが違う」と分かり、参考になった。学校で面接練習をすると、知っている先生なので、あまり緊張感がなくなってしまうが、他校と交流できてたくさん学ぶことができた。

オンライン面接をはじめてやり、こんな感じになるということが分かった。学校の先生以外では面接練習ははじめてなので、緊張したがいい経験になった。



面接官役もできたので、どのように答えれば印象がよく見えるのか、伝わりやすいかが分かったのでよかった。他の学校の方から学べることも多く、参加できてよかった。



初めて会う方と面接練習するが本番に近くとてもよかった。自分では考えられなかった質問をたくさん受けて対応力や、もう一度その質問について深く考えるきっかけになった。新型コロナウイルスで同じ看護師を希望する子と交流ができなかったが、今回できて良い機会だった。



1度も体験したことのない面接練習を経験でき、緊張感を持っていかに相手の人に、良い印象を与えられるか考えさせられました。まわりの同じ受験生を見ることができ、直すところが見つげられた。緊張したがいい経験になった。

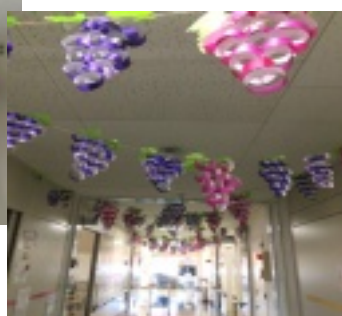
予想していなかった質問をされたので、考えていなかった時にどう回答すればいいのかが考えることができてよかった。オンライン面接は初めて体験することができてよかった。とても緊張したが、面接官役も体験することができて、自分がどのように見られているのか感じることもできて、よかった。

初めての場所で、知らない方と面接練習をするという事が、本番に近くて実際のイメージをすることができた。過去の質問も知らないものが多く役にたった。練習の良い点悪い点を本番で生かしていきたいと思った。

面接官役をすることで、自分が面接を受ける際に大切にすべき点が見え、とても生かせると思った。また相手に見てみもらう事で、表情をやわらかくするなど、改善点を知ることができ、とても貴重な体験でした。



4階病棟の食堂へつづくどう



問合せ



岐阜勤労者医療協会

みどり病院

〒501-3113

岐阜市北山1-14-24

☎ 058-241-0681 (代表)

✉ midori-nurse@gifu-min.gr.jp

携帯：090-1621-0243

看護学生担当：荒深

